

振興会ニュース

第 4 号

1996年 3 月

日本バスケットボール振興会

平成8年度の振興会の方針と事業計画 ——振興会の組織の充実と法人化の検討——

平成8年度の振興会の方針と事業計画を決めるための理事会が、以下のように開催され、役員人事の充実・法人化の検討・助成関係事業等重要事項が決定しました。
(富士理事長欠席のため笹岡副理事長が進行役)

I. 期日・場所 平成8年2月27日(火) 東条会館

II. 出席者 牧山圭秀(会長) 浅野 良一 稲垣 安二 井上 一男
大塚 周一 小笠原義昭 乙部 功 上谷 富彦 喜多 輝郎
黒川 義雄 川本禮治郎 笹岡 太一 清水 英邦 下間 光雄
関口 荘次 都崎 修男 手嶋 昇 徳永 寿美 中川 幸男
中野 富郎 日比野 明 藤本 盛策 丸山 正敬 吉田 公子
吉田ミツ子 渡辺 誠 渡辺 峯男(以上理事)
黒川 敏雄 細谷 和男(以上監事)



Ⅲ. 決定事項及び審議の概要

1. 組織の充実

(1) 役員を増強

本年度は改選期であるが、理事会を中心に役員の実充、次代の方々の参加を含め、振興会の知識・経験をさらに豊かにするために、次のように副会長・理事・常務理事の新任、ならびに特別顧問の新任、顧問の増員の方針を決定しました。

- 副会長 井上 一男 関口 荘次
- 常務理事 小笠原義昭 川本禮次郎 中川 幸雄 二宮 正行
渡辺 誠
- 理事 今泉 健一 下間 光雄 手嶋 昇 日比野 明
- 特別顧問 大野 龍一 佐室 有志 寺澤三千夫
- 顧問 参与の中で昭和11年生前後の方

－役員・会員全員の名簿は5・6ページ－

(2) 会員の増加

振興会の規模の拡大のため、3月から4月にかけて、日本協会・実連・学連のOB、日本リーグ・関東実連チームの部長、地方協会の会長・理事長等約200名の方々に、個人会員加入の要請を行なうことが決まりました。また、企業への法人会員加入のお願いもあわせて行うことになりました。

2. 振興会の法人化の検討

振興会が積極的に助成事業を行なうためには、寄付金等による資金の実充が不可欠であり、そのためには社会的に信頼される組織、すなわち公益法人化を図ること、この場合、財団法人よりも会員制を原則とする社団法人が振興会になじむことが了承され、体協・協会とも十分協議し、社団法人化について検討して行くことが決まりました。

[付]

振興会の目的は毎々申しあげているとおり、バスケットOB会として会員相互の親睦をはかること、そして出来る限りの日本のバスケットの普及発展に協力、助成することである。一口にバスケットの協力助成といっても結局諸先輩のチェと財源の問題となる。

昨年の役員会でも森澤先輩より御発言があったが、今後振興会として基金の設定は大事でまた大方の賛成されるところである。然し何分の不況下財源もき

びしい状況にあるが、今後出来る限り努力する必要がある、之と併せて法人化の問題が浮上する。

このためには今後組織、役員編成、資金経理、事務所運営等一つ一つつくりあげる必要がある、之により振興会としての方向が内外に対して解り易い信頼されるものになると思う。

特に事業の助成対象は、今日まで部会をもって検討して頂いて来たが、その内容は殆ど法人化内容と変わらないものである。

前会長も言っておられたとおり、普及としても協会の及ばない低辺、地下部分を一つ一つ具体化して進めるべきかと考える。

役員会で法人化の方向が承認頂ければ、夫々の分野で積極的に進めて行きたいと思う。（富士秀雄理事長追記）

3. 助成関係事業

助成事業を積極的に行なうため、次の諸事業が決定しました。

- (1) 中学校・ママさん大会・ミニ競技大会等への援助
- (2) 指導者（監督・コーチ）・競技者・審判・オフィシャル等の人材の研修に対する援助
- (3) 各種大会への参加賞の提供
- (4) 日本リーグ・実連・学連等試合の入場券の配布
- (5) バスケット情報の収集
- (6) その他



4. コミュニケーションの強化

コミュニケーションの強化に関し、次の事業が決まりました。

- (1) 日本協会その他の団体との連絡・交流
- (2) 座談会の開催に努力

会議等のつど、お話をする場をもちたい。

5月29日(予定)、テーマは今後検討する

5. 刊行物

刊行物に関しては、次の事項が決まりました。

- (1) 「振興会ニュース 第4号」の発行(3~4月)
- (2) 「スポーツイベント」誌の配布
- (3) 同上誌「振興会ページ」への寄稿
- (4) 「会員名簿」の作成(8~9月)

上記(3)に関し、牧山会長より寄稿がありました。今後ひきつづき寄稿をお願いする予定。

6. 平成7年度決算・平成8年度予算

事業内容、会員数決定後の次回理事会に提出することが了承され、その場合会費の額を次のように改めることが決まりました。

個人	男子	一口	10,000円	女子	一口	5,000円
法人		一口	50,000円			

7. 中学生オールスター競技大会への助成

日本協会普及部長から振興会会長宛に、3月開催の中学生オールスター競技大会へ助成金を支出して欲しいという要請については、バスケットの普及、協会とのコミュニケーションの促進の観点から、受け入れることが決まりました。会計上の処理のし方と金額については、運営理事会にまかせることが了承されました。

8. 会議等の日程

次のように了承されました。

4月20日(土)	理事会
5月29日(木)	役員会、喫茶パーティ、(座談会)
11月7日(木)	秋季懇談パーティ

9. 一般的意見交換

- (1) ミニでバスケットをやっていたものが、そのあとのスポーツへ移る傾向があるから、これを引き止めることを考える必要がある。
- (2) 放送局の番組編成委員にバレーやサッカー関係者が含まれているが、バスケット関係者も含まれるよう働きかけるべきである。
- (3) バスケット専用体育館を建てる必要がある。体育館の管理・運営の経費は多額になるから、スポンサーが必要である。
- (4) 日本リーグ男子ファイナルゲームはキリンビールの後援となった。
- (5) 振興会には、資金を出してくれる人を集めてくることが大事である。
- (6) 結局はお金の問題であり、どうやって集めるかである。又バスケットは体育館の入れものが小さいことも問題である。

振興会の役員・会員一覧（案）

平成8年2月27日現在

会 長	牧 山 圭 秀				
副 会 長	黒 川 義 雄 小 張 剛 作 丸 山 正 敬	稲 垣 安 二 桜 井 美 知 夫	井 上 一 男 関 口 莊 次	大 塚 周 一 中 野 富 郎	喜 多 輝 郎 富 士 秀 雄
理事長（兼）	富 士 秀 雄				
副 理 事 長	笹 岡 太 一				
常 務 理 事	小笠原 義 昭	川 本 禮 治 郎	中 川 幸 男	二 宮 正 行	渡 辺 誠
	今 泉 健 一 下 間 光 雄 藤 本 盛 策	奥 田 薫 関 根 正 司 保 坂 陽 一	上 谷 富 彦 都 崎 修 男	実 吉 純 彰 手 嶋 昇	澤 田 嘉 夫 日 比 野 明
	浅 野 良 一 田 口 武 也 吉 田 ミツ子	乙 部 功 渡 辺 峯 男 吉 田 公 子	金 子 栄 次 金 子 綾 子	小 林 四 郎 徳 永 寿 美	清 水 英 邦 森 戸 照 子
監 事	黒 川 敏 雄	細 谷 和 男			
特 別 顧 問	三 本 常 彦 大 橋 貞 雄 鈴 木 正 三 武 山 栄 雄 橋 本 正 二	石 原 進 一 大 野 龍 二 住 田 正 吉 辻 畑 兵 龍	植 田 義 己 加 藤 祥 行 関 本 忠 弘 寺 澤 三 千 夫 宮 川 敏 夫	小 栗 莊 一 黒 田 善 一郎 関 本 昌 弘 十 本 亀 博 森 沢 誠 光	鬼 塚 喜 八郎 佐 室 有 志 滝 富 夫 羽 倉 信 也
顧 問	相 野 谷 森 次 石 野 川 武 淳 内 海 村 敏 生 奥 村 敏 生	青 井 水 月 石 倉 哲 雄 板 元 敏 夫 加 島 義 一	浅 野 忠 宏 伊 藤 五 郎 太 田 宜 光 加 藤 雅 春	安 今 倍 慶 衛 大 泉 正 一 加 室 富 弥 藤 室 富 覺	池 田 博 内 尾 辰 正 尾 崎 正 敏 池 田 敏 敏

顧	問	黒関成巖増山和	須合田縣田	輝悦匡一敏	男受昇一郎稔夫宏	小田成伴三山	池口沢木田	昭栄康忠光	生太郎彰重均雄	小津庭日三吉	森田野高宅岡	正孚隆一純	己人雄明一郎	齊中野房門吉	藤島口野司田	博光三吾徳雄	消昌久親幸	東長羽細本渡	林海島柴野島邊	周元道国長谷	太郎久司彦雄
参	与	浅岩荻国佐田林磯小中	田崎原松藤辺部堀山	幸敏隆健精正忠奈緒サヨ	生朗夫一孝道男琴美子	浅榎折児島寺松薄猿永	野本戸玉原田岡井渡田	義日出祐大三生義千瑞ふみ子	尋夫男敏三朗男明代子	安大上小鈴戸三遠鈴原	藤室條泉木田栖藤木田	孝清浩賢正一典文直	男資佑武哲久夫江江美	飯小城斉関中山尾竹	田澤崎藤山本崎中	昌正久和政泰岑博張	夫博司男昭夫生子子	今小木佐滝中山久中	井川村久間島川本保村	孝三恭道幸義嘉絵幸	男郎平博雄光宏子子
会	員	青遠小杉	木藤泉山	三重子子子枝	子子子枝	青小佐関	島川々木根	瑞幸ふさ雅	枝枝子子子	赤小佐高	尾田藤田	由英美綾洋	美子美子女子	飯小野柴鶴(菅原)福米	高寺田田	絢悦美信	子子子子子	石岐菅戸	塚部原塚	文香光宜	子代子子子
		中牧渡	村野利	幸幸登美子	子子子美子	根村	本田	房道	子子子	野柳	上川	佐知子	子子子	永田	和由美子	子子子	藤渡	野辺	洋恵	子子子	子子子

法人会員

(株)アシックス

黒田電気(株)

新日本証券(株)

(株)第一勧業銀行

大和証券(株)

東京海上火災保険(株)

豊田通商(株)

日本電気(株)

(株)服部セイコー

東日本旅客鉄道(株)

松下電器産業(株)

三井生命保険(相)

三菱電機(株)

ユニチカ(株)

丸紅建材リース(株)